

阿蘇温泉病院が担う役割について

令和5年9月5日

医療法人社団坂梨会 阿蘇温泉病院

併設（老健）愛ライフ内牧

【理念】

よりよき人間性を よりよき環境を よりよき医療・介護を

【基本方針】

- 1) 患者様と利用者様の人格と尊厳を重んじます
- 2) 常に敬語と笑顔で応対します
- 3) 自己研鑽につとめ人間性を高めます
- 4) お互いに信頼される人間関係を構築します
- 5) 医療・介護のプロとして誇りと自覚を忘れません
- 6) 快適な療養環境の提供を目指します
- 7) 常に整理整頓を心がけ清潔を保ちます
- 8) 施設周辺の美化に取り組みます
- 9) 分かりやすい説明を行い、質の高い医療・介護を目指します
- 10) 地域の関係機関と連携し最適な医療・介護を提供します

1 現状と課題

②診療実績

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一日平均入院患者数 (人)	246.6	247.3	242.8	234.9
一日平均外来患者数 (人)	158	147	145.6	206.8
病床利用率(%)	94.9%	95.5%	93.7%	90.4%
平均在院日数(日)	189.9	201.0	208.5	143.3

	平成31年度	令和2年度 260床	令和3年度 236床	令和4年度	令和5年度 見込
一日平均入院 患者数(人)	233.7	236.6	215.3	207.6	216.9
一日平均外来 患者数(人)	194.9	174.8	168.6	147.4	120.6
病床利用率	89.9%	91.0%	91.2%	87.7%	91.9%
平均在院日数	108.0	119.0	111.0	97.0	108.7

1 現状と課題

③職員数

④特徴

【職員数】(令和5年8月1日現在)(カッコ内数字は非常勤職員)

医師 8名(11名)、歯科医師 1名(0名)、看護師 64名(6名)、助産師4名、准看護師 29名、薬剤師 4名、診療放射線技師 4名、臨床検査技師 8名、臨床工学技師10名、診療録管理士1名、管理栄養士 4名、栄養士 0名、理学療法士 14名、作業療法士 4名、言語聴覚士 7名、音楽療法士 0名、歯科衛生士2名、歯科助手1名、医療相談員 0名、事務員 24名、社会福祉士 6名、介護福祉士 18名、介護補助者36名、その他 2名。 合計 316名

【特徴】

当院は260床と阿蘇圏域では最多の病床数である。

急性期を担う一般病棟では、内科系救急告示病院である。

年間80～90件の救急車を搬入して、対応している。

慢性腎不全(透析)の患者数は100名を超え救急対応が増加している。

緩和ケア病棟(14床)や産婦人科(外来)、病院歯科を設置している。

非常勤医師の診療は、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、血液内科などである。

＜病床＞

急性期病床は平成29年に6床減少した。回復期は平成29年に20床から26床に増床した。療養病棟(178床)は病床稼働率が99%前後であり、260床で運用
新型コロナにて、回復期24床を新型コロナ病床8床に転換した(2023年9月迄)。

【5疾病】

- ❀がん診療は、がん検診事業と緩和ケア病棟を展開し、緩和ケア講演会の開催や見学を受け入れて、基幹病院や地域と連携している。
- ❀脳卒中は、院内発生例はJUSTシステムを運用開始した。神経内科医師1名、脳神経外科医師が1名が在職している。脳卒中の軽症や慢性期や脳リハを担っている（t-PAや血栓除去術は行っていない）。
- ❀急性心筋梗塞は、熊本市内の基幹病院や阿蘇医療センター等と密に連携している。当院では慢性期を引き継いでいる。禁煙を継続中で、高血圧や脂質代謝異常症の早期発見と早期治療を行っている。
- ❀糖尿病は、糖尿病専門医は不在であるが、内科専門医が妊娠糖尿病の管理等を含め担当している またNSTが活動中。
- ❀精神科は、阿蘇やまなみ病院や県内の精神科の医療機関と連携している。

【5事業】

- ❀ 救急は、救急告示病院として年間約80件の救急車を搬入している。夜間の受け入れ数は昼間の2-7倍ある。
- ❀ 災害医療では、九州北部大水害や熊本地震に対応した。定期的に訓練している。
- ❀ へき地医療は、当院に認定はないが協力している。
- ❀ 周産期は、阿蘇で唯一の分娩施設を2020年10月から休止した。少子化と人員不足が主因であった。現在、妊婦健診と産後ケアを担っている。阿蘇の妊婦は、無痛分娩希望が増加し、主に菊池郡や熊本市や日田市の医療機関にて分娩している。熊本市の産科医から分娩前は近くに滞在を求められる例も。全国で分娩施設の集約化（働き方改革）が進んでいる。
- ❀ 小児医療は、非常勤小児科医が週3回診療や小児検診を担当している。

【在宅医療】

退院後の在宅医療を支援し促進している。訪問看護（訪問看護ステーション）、訪問診療、居宅事業所、訪問リハ、訪問介護、短期入所、等に退院支援担当者（MSW）が5名在籍し、入院から在宅に向けて幅広く切れ目なく早く対応している。

保険（施設名）	部門（令和5年7月介護実績）
医療保険 病院（阿蘇温泉病院）	訪問看護ステーション 訪問診療
介護保険 老健（愛・ライフ内牧） 訪問（春草苑） 居宅（みずあさぎ）	入所（109人）、短期入所（5.9人） 通所（50.4人）、デイケア（38件） 短期通所リハビリ（53件、延211人） 介護訪問リハビリ（33件） 訪問介護（36件、延274人） 居宅137件

【地域医療連携】

- ❀ 熊本県内の基幹病院と地域連携を深める活動をしている。
- ❀ 阿蘇郡市や菊池郡市の医療機関や介護施設と連携している。
例として、阿蘇市のターミナルケアの研修会にて林理学療法士が一部担当した。
- ❀ 医療ソーシャルワーカー（MSW5名）が、前医の転院から在宅に向けて幅広く切れ目なく対応している。
- ❀ 年1回地域医療連携の会を開催して、他機関との連携を深めている。

2 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】

- ❖ 多数の診療科と有資格者で多角的に診療を推進する。
- ❖ 急性期の脳卒中と急性心筋梗塞は阿蘇医療センターを中心とした阿蘇地域の診療体制に協力する
- ❖ 亜急性期及び慢性期、介護を要する在宅患者さんを重点的に診療や介護を行う。神経内科医と脳神経外科医が在籍するため、慢性期の脳・神経疾患へのリハについては尽力したい。
- ❖ 新型コロナウイルス感染症など新興感染症発生時には、当院は引き続き透析と妊産婦に特化した診療及び一般の感染者（主として軽症）に尽力したい。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方】

単位：床

病床機能	2017年4月 (平成29年)	2017年9月 (平成29年)	2020年12月 (令和2年)	2023年8月 (令和5年)	2025年 (令和7年)
高度急性期	0	0	0	0	0
急性期	62	56 ※1	56	56	56
回復期	20	26 ※1	24 ※2	24	24
慢性期	178	178	180 ※2	180	180
その他	0	0	0	0	0
合 計	260	260	260	260	260

※1：2017年9月1日、急性期病床を6床減らし、回復期病床を6床増やした

※2：2020年12月1日、回復期機能の病床である地域包括ケア病棟を2床減らし、慢性期機能の療養病棟を2床増やした

愛・ライフ内牧	2023年7月	2023年8月	2025年(令和7年)
病床の合計	125	120 (-5床)	120

老健は個室入所希望が増加したため対応した（減床した）（県の許可有）

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【②診療科の見直し】

	現時点 (2023年7月時点)	2025年	理由・方策
維持	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、外科、整形外科、アレルギー科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、美容皮膚科、歯科、麻酔科	耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科・泌尿器科の常勤医を招聘したいと考えている	地域でのニーズが多い地域全体として医師不足があると思われるため 方策は特になし
新設	なし	精神科(非常勤)	共にニーズが多い確保策はない
廃止	なし	なし	なし
変更・統合	なし	なし	なし

3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点 (2023年7月時点)	2025年
①病床稼働率	88.3%	90.0%
②紹介率	51.4% 初診：157人/305人	50.1%
③逆紹介率	40.3% 初診：123人/305人	41.0%

当院診療情報管理室データより

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

【取組みと課題】

- ❀ 地域診療連携と患者さんへのサービス改善に努める
- ❀ 病院機能評価の審査（6回目）を2025年2月に予定している。現在、中長期的計画案、カルテの質的監査、各部門の課題抽出を行っている。
- ❀ 全体研修や専門教育とTQC活動は25周年続けている。
- ❀ 医療従事者の確保は、耳鼻科医、皮膚科医、眼科医、透析医、看護師不足が特に難しい課題である。医療従事者の確保に向けた当院の取組みは、男性育休促進、年次休暇日数（125日）の多さ、退職者への親切的な再教育がある。
- ❀ 外国から特定技能実習生の採用数を増加する。当院には多数の特定技能研修生が勤務している（ベトナム、ミャンマー、フィリピン）。共存共栄で定着を図る。

4 その他特記事項

【その他】

- 🍀 よりよい医療や介護を提供し、採算性を維持しつつ今後も努力します
- 🍀 阿蘇地域調整会議にて特に説明したい事項はありません